

『FUKUOKA NEXT』の着実な推進

～成長の果実をあらゆる人に～

平成30年度当初予算案の概要

平成30年2月14日
福岡市財政局



目 次

I 政策の推進	・ ・ ・ 1
1 市民一人ひとりに、「温もり」のあるまち	
2 経済活動が活発で、「チャレンジ」できるまち	
3 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・ ・ ・ 8
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整用基金の残高の確保	
4 市債残高の着実な縮減	
III 予算案の姿（概要）	・ ・ ・ 16

I 政策の推進



『FUKUOKA NEXT』の着実な推進

～成長の果実をあらゆる人に～

- 「元気で住みやすいまち、成長可能性が高いまち」にさらに磨きをかけ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感をあらゆる人に、そして、都心部から農山漁村地域まで行き渡らせ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指す
- 「人生100年時代」を見据えた持続可能な社会の実現に向けた取組み、高まる需要に対する都市としての供給力の向上、新しい時代に向けた先進的なまちづくりなどにより、安全・安心で持続的な好循環が可能な都市づくりを推進

1 市民一人ひとりに、「温もり」のあるまち

⇒ 安心して生み育てられる環境づくり、災害に強いまちづくり、スクールソーシャルワーカーの全中学校区配置、放課後補充学習を全小学校で実施、小学校英語教育の充実、性的マイノリティ支援、高齢者・障がい者の社会参加支援の充実、認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

2 経済活動が活発で、「チャレンジ」できるまち

⇒ アジア太平洋都市サミット、スタートアップ支援施設運営事業、市街化調整区域の活性化、農山漁村地域の付加価値の創出、国内を代表するMICE拠点の形成、屋台の魅力発信事業、中小企業元気都市推進事業、商店街チャレンジ応援プロジェクト

3 「都市基盤」が充実し、次の世代のために歩むまち

⇒ 博多旧市街プロジェクト、天神ビッグバン、ウォーターフロントネクスト、福岡空港周辺地域の環境整備、交通・人流・物流機能の強化、総合体育館オープン、動植物園エントランス部リニューアルオープン、美術館リニューアルオープン、「一人一花」運動、機動救助隊創設

1 市民一人ひとりに、「温もり」のあるまち

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

安心して生み育てられる環境づくり

★新たな保育ニーズへの対応【4,959,648】(こども)

多様な手法により2,000人分の定員確保

- ① ☆認定こども園への移行や民間保育所等の整備に対する助成
- ② ★2歳児の保育を実施する幼稚園に対し、運営費・改修費等を助成
- ③ ☆閉園する姪浜幼稚園園舎への市立姪浜保育所の定員増を伴う移転整備

★保育所等におけるICT化推進等事業【44,190】(こども)

保育業務のICT化や事故防止のためのシステム・機器の導入費用を助成

★医療的ケア児保育モデル事業【8,989】(こども)

市立千代保育所に看護師を配置し、医療的ケア児をモデル的に受入れ

★保育士家賃助成事業【194,419】(こども)

賃貸物件に居住する正規保育士に対し、月額1万円を上限に家賃を助成

★一般不妊治療費助成事業【10,765】(こども)

子どもを望む夫婦に医療保険適用外の一般不妊治療費(人工授精)の一部を助成

★子育て世帯住替え助成事業【14,030】(住都)

子育て世帯の居住環境改善等を図るため、住替えにかかる初期費用を一部助成
(三世代同居・近居、多子世帯は上乘せ)

★児童心理治療施設の設置【21,117】(こども)

児童心理治療施設のこども総合相談センター内設置に向けた基本・実施設計



災害に強いまちづくり

★総合ハザードマップ【10,000】(市民)

地理情報システムを活用した各種ハザードマップ等のデジタル化

★河川水位監視の充実・強化【4,050】(市民)

Fukuoka City LoRaWAN™(※)を活用した水位観測の実用化の検証

※LoRaWAN™…低消費電力で広範囲をカバーできる無線通信技術を使ったIoT向け通信ネットワーク

★市民総合防災訓練の充実【6,307】(市民)

新たに物資輸送や他区会場との連携なども加えた、より効果的な訓練を実施

すべての子どもの未来を育む

★スクールソーシャルワーカー活用事業【298,422】(教委)

不登校や問題行動等を解消するため、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充(25人 ⇒ 69人(全中学校区に配置))

★学力パワーアップ総合推進事業【144,033】(教委)

学校を中心とした地域ぐるみの放課後補充学習の実施校数を拡大
(70校 ⇒ 144校(全小学校))

★子どもの食と居場所づくり支援事業【3,880】(こども)

子どもたちへの食事の提供と居場所づくりを行う民間団体の活動に対する支援
(補助要件:月2回以上開催⇒月1回以上開催に緩和 等)

★進学準備給付金【37,200】(保福)

生活保護世帯の子どもの大学等への進学支援のため一時金を支給

★子どもの健全育成支援事業【53,017】(保福)

生活保護世帯等の子どもを対象とした訪問型学習支援等を実施

★アジア太平洋こども会議30周年記念事業の支援【8,500】(こども)

「アジア太平洋こども会議・イン福岡」主催の30周年記念事業に対する支援



教育環境の充実

★教育水準の向上に向けた教員の正規化の推進(教委)

児童生徒数の増に伴う教職員定数の拡充(+141人)とあわせ、
教員の正規化を推進

★小学校外国語活動支援事業【20,698】(教委)

平成32年度からの小学校3・4年の外国語活動導入を見据えた先行的な
取組みとして、ゲストティーチャー等による英語教育を実施 (15時間/年)

★小学校外国語科支援事業【183,618】(教委)

平成32年度からの小学校5・6年の外国語教科化を見据えた先行的な
取組みとして、ネイティブスピーカー等による英語教育を実施 (50時間/年)

★特別支援教育支援員等の配置【190,151】(教委)

障がいのある児童生徒をサポートする特別支援教育支援員の増員(15人)

★部活動指導体制の強化【85,348】(教委)

中学校、高等学校における部活動指導体制の充実及び教員の負担軽減のため、
部活動指導員を配置(73人)

・能古小・中一貫教育の推進【1,052,000】(教委)

施設一体型の小中一貫教育の実施に向けた施設整備等(平成30年度完了)



誰もが暮らしやすいまちへ

★性的マイノリティ支援【4,332】(市民)

パートナーシップ宣誓制度の導入や専門相談電話の開設等により、性的マイノリティ(※)を支援 ※性的マイノリティ…性的指向や自認する性に関して多数派とは異なる人

☆障がい者差別解消条例施行関連経費【13,019】(保福)

障がい者を理由とする差別の解消に向けた条例の制定や相談体制の拡充等

★精神障がい者支援体制の構築推進【6,060】(保福)

精神障がい者の地域生活を支援するため、ネットワークの構築や措置入院者等の退院後支援を実施



☆障がい者の地域生活支援機能強化事業【111,820】(保福)

「親なき後」や障がい者の高齢化を見据えた、地域生活支援機能の強化(緊急時受入拠点の拡充等)

☆発達障がい児・者支援事業【12,289】(保福)

幼児期から成人期までの一貫した発達障がい者支援を行う拠点施設の検討

☆生活支援体制整備事業【94,861】(保福)

高齢者の地域生活を支援するため、生活支援コーディネーターをいきいきセンターふくおかや区社会福祉協議会に配置

☆地域との協働による移動支援モデル事業【11,745】(保福)

高齢者の買い物等を支援する地域団体等へ車両を貸し出すモデル事業を実施

★犬猫パートナーシップ店制度の実施【5,000】(保福)

犬猫の殺処分ゼロを目指した犬猫パートナーシップ店制度の実施及びPR

☆難病対策【1,976,649】(保福)

権限移譲に伴う指定難病患者への医療費助成等を実施

☆たばこ(喫煙)対策【10,190】(保福)

福岡市たばこ行動指針の改定や受動喫煙防止に関する啓発を実施

健康寿命の延伸

★がん検診受診強化事業(ピロリ菌検査の導入)【25,201】(保福)

満35歳、満40歳の市民に対する胃がん予防のためのピロリ菌検査の導入や各種がん検診の受診率向上に向けた個別勧奨の実施

★糖尿病性腎症重症化予防事業【6,876】(保福)

国保被保険者のうち、糖尿病治療中断者への保健指導を実施

★適正服薬推進事業【15,000】(保福)

国保被保険者のうち、重複服薬者等の健康の保持・増進と医療費の適正化を図るため、適正服薬を推進

☆生活保護受給者への適正受診指導等の強化【21,456】(保福)

適正受診や糖尿病等の重症化予防等に向けたプログラムを実施

「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～

★福岡100推進協議会【3,000】(保福)

「福岡100」への産学官民の取り組み気運の醸成を図る協議会の立上げ

★ケア・テック・ベンチャーの支援【8,629】(保福)

健康・医療・介護などの人をケアする分野でチャレンジするスタートアップ企業を支援

☆福岡ヘルス・ラボの運営【12,356】(保福)

産学官民の共働・共創の場「福岡ヘルス・ラボ」において、新たに市民モニター制度を活用した製品・サービスの健康への寄与度評価を実施

★アクティブシニアの創業・就業支援【7,159】(保福)

高齢者の就業を促進するため、シルバー人材センター等と連携し、高齢者雇用企業の開拓等を実施

★短期集中予防サービスモデル事業【2,856】(保福)

入院により生活機能が低下した高齢者に対して、退院直後に専門職による集中的な支援を実施



認知症フレンドリーシティ・プロジェクト

☆認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及【29,473】(保福)

医療・介護専門職や家族介護者向けの講座開催、市民向け講座や小・中学生への普及に向けたプログラムの作成等

★認知症カフェの開設促進【5,994】(保福)

認知症の人やその家族の居場所づくり等のため、認知症カフェの開設を支援

★認知症の人の見守りネットワーク事業(LoRaWAN™)【3,640】(保福)

Fukuoka City LoRaWAN™を活用した認知症の人の見守り実証実験

★認知症の早期発見・早期対応(ICTの活用)【591】(保福)

タブレットを活用した認知機能簡易検査による認知症の早期発見や予防啓発

★「認知症にやさしいデザイン」ガイドライン【7,068】(保福)

認知症になっても暮らしやすいまちづくりを目指し、認知症のひとに配慮したデザインの指針を策定



2 経済活動が活発で、「チャレンジ」できるまち

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

世界と繋がるスタートアップの街

- ★アジア太平洋都市サミット【59,627】(総企)
都市問題の解決に実行性のある会議を、国連ハビタット福岡本部と共同で開催
- ☆スタートアップ支援施設運営事業【73,430】(経観文)
旧大名小学校校舎において民間事業者のノウハウを活かした官民共働型のスタートアップ支援施設を運営(平成30年度下半期以降も継続実施)
- ・スタートアップカフェの運営【64,773】(経観文)
旧大名小学校校舎において、スタートアップ支援施設と相互連携した運営によるスタートアップ支援の実施
- ☆グローバルスタートアップ推進事業【89,149】(総企)
グローバル展開を見据えた創業環境づくりを推進するため、国際ビジネスマッチングイベント等を実施
- ☆国際貢献・協力を通じたビジネス展開【45,018】(総企)【11,333】(環境)
①官民連携したODA案件の受注など地場企業のビジネス機会の創出
②廃棄物埋立技術「福岡方式」を軸とした国際貢献・展開の推進
- ☆姉妹都市交流推進事業【21,183】(総企)
姉妹都市としての関係を活用した経済交流事業等の実施や市民の相互理解の促進



Society5.0(超スマート社会)へのチャレンジ

- ★Society5.0(※)へのチャレンジ【8,967】(総企)
先進的な民間提案の受入・支援を行うワンストップ窓口の設置や、AIコミュニティの運営、官民データの活用推進により、社会課題の解決等を促進
※Society5.0…先端技術を社会生活等に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する試み
- ★観光ビッグデータを活用した観光案内・サービス実証【3,840】(経観文)
国や民間企業等と連携し、IoT(※)や人工知能(AI)も活用した観光案内・サービスの実証
※IoT…様々なモノがインターネットを介し相互に通信することで、遠隔計測等が行われること
- ★認知症の人の見守りネットワーク事業(LoRaWAN™)【3,640】(保福)【再掲】
Fukuoka City LoRaWAN™を活用した認知症の人の見守り実証実験
- ★河川水位監視の充実・強化【4,050】(市民)【再掲】
Fukuoka City LoRaWAN™を活用した水位観測の実用化の検証



市街化調整区域の活性化

- ☆農山漁村地域ビジネス創出推進事業【5,000】(総企)
地域産業の振興に向けた各地域毎の民間施設のあり方検討、民間事業者へのヒアリング等を実施
- ★市街化調整区域におけるグリーンツーリズムの推進【2,000】(経観文)
インバウンド観光客等向けのグリーンツーリズム推進のため、早良区南部の自然を活用した観光PRと観光商品の造成
- ☆市街化調整区域における定住化対策【4,200】(住都)
定住化促進のため、空家、空き地の調査などにより、地域の取組みを支援するとともに、モデル地域(今津)におけるNPOとの共働事業を実施
- ★耕作放棄地活用促進事業【800】(農水)
耕作放棄地の有効活用に向けたドローンによる耕作放棄地調査の実証研究
- ☆海づり公園を活用した北崎地区活性化事業【4,853】(農水)
北崎地区の魅力向上やコミュニティの活性化を図るため、地域特性や特産物を活かした社会実験など、地域・民間のチャレンジを支援

農山漁村地域の付加価値を生み出す街

- ★市内産野菜の活用促進事業【2,000】(農水)
市内産未利用野菜の商品化に向けた産学官連携によるドライ加工等の実証研究及び加工品の試作
- ★豊かな海再生事業等(博多湾の底質改善など)【46,582】(農水・港空)
アサリ等の漁場生産力や自然環境の質の向上を図るため、微生物等を利用した底質改善やアマモ場づくり等を実施
- ★鮮魚市場仲卸売場棟衛生環境改良事業【22,800】(農水)
生鮮魚介類の鮮度保持の向上等のため、仲卸売場棟に冷房設備等を整備
- ☆鮮魚市場高度衛生管理体制の確立に向けた閉鎖型卸売場棟への改築・改修等



MICEで賑わい、潤う街

☆国内を代表するMICE拠点の形成【393,467】(経観文)

MICE機能の強化を図るため、第2期展示場関連インフラ整備等を推進

・ラグビーワールドカップ2019開催準備【550,420】(市民)

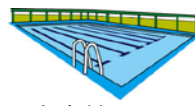
大会に向けた各種計画の策定、気運醸成、施設改修等

・日本陸上競技選手権大会開催準備【52,124】(市民)

2019年の日本陸上競技選手権大会に向けた準備等

☆世界水泳選手権福岡大会開催準備【576,254】(市民)

2021年の大会に向けた企画、調整、準備、関係機関との協議、気運醸成等



多彩な人が集うおもてなしの街

★博多旧市街プロジェクト【13,455】(経観文)

中世最大の貿易都市であった博多部において、市民や観光客に楽しんでもらえる環境を整備し魅力を高める

- ①ロゴを活用した博多旧市街のPR
- ②博多部エリアの歴史文化等を活かした観光振興の検討
- ③観光案内板等の改修



☆歴史・文化に配慮した道づくり～博多旧市街プロジェクト～【312,700】(道下)

博多部に点在する魅力や立ち寄り拠点等をまちなみでつなぎ、旧市街の形成を図るため、歴史・文化に配慮した趣のある道路に再整備

★屋台の魅力発信事業【6,684】(経観文)

集客イベント開催時における屋台出店等による魅力発信



★博多ポートタワー改修事業【235,304】(港空)

市民や観光客が多く訪れる博多ポートタワーの改修

地場企業・商店街・働く人を応援する街

★中小企業元気都市推進事業【8,458】(経観文)

中小企業の生産性向上を図るためのセミナー及びキャッシュレス消費を喚起するイベントを開催

★商店街NEXTチャレンジャー育成事業【4,630】(経観文)

商店街の若手会員や商店街で創業を目指す若手や女性などを次世代の担い手として育成

★商店街NEXT・FOODグランプリ【1,845】(経観文)

商店街における「食」をテーマとした若い世代の来街促進及び核店舗の創出

・商店街インバウンド対策支援事業【2,597】(経観文)

商店街における外国人観光客の受入環境整備の取組みを支援

★伝統的工芸品活性化事業【14,700】(経観文)

「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」及び「博多織777周年記念事業」への支援

★アクティブシニアの創業・就業支援【7,159】(保福)【再掲】

高齢者の就業を促進するため、シルバー人材センター等と連携し、高齢者雇用企業の開拓等を実施

★「福岡100」スタートアップ資金の創設【創業支援資金3,649,000の内数】(経観文)

50歳以上の新規創業者を対象に、従来より融資利率を引き下げ、セカンドステージに向けた起業チャレンジを支援

★ふくおかのしごと見える化事業【3,650】(経観文)

福岡市限定の求人検索・応募アプリの作成及び地場企業向けアプリ活用セミナーの開催

★ふくおか地元就職・人材確保支援事業【3,150】(経観文)

学生の地元就職を促進するため、地元大学生と地場企業の交流等を支援

★人材確保相談事業【1,000】(経観文)

中小企業の人材確保支援のため、窓口相談及び訪問による個別相談を実施



未来に向けて生まれかわるまち

☆歴史・文化に配慮した道づくり～博多旧市街プロジェクト～
【312,700】(道下)【再掲】 歴史・文化に配慮した趣のある道路に再整備

・天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)～情緒ある路地空間の創出～
【90,585】(住都・道下)

天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)の魅力づくりに向けた
石畳による道路整備と景観誘導

・天神ビッグバンの西のゲート～旧大名小学校跡地のまちづくり～【10,390】(住都)
事業契約の締結に係る協議・調整

・九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり【268,669】(住都)
まちの整備ルール等を示すグランドデザイン策定や基盤整備の検討、
先進的なまちづくり「FUKUOKA Smart EAST」の取組みを推進

☆青果市場跡地活用の検討【29,446】(住都、道下)

事業者公募、契約締結、跡地活用に向けた協議・調整、周辺道路の設計等



ウォーターフロントネクスト

☆ウォーターフロント地区再整備の推進【127,195】(住都・道下)
ウォーターフロント地区(中央ふ頭・博多ふ頭)の再整備に向けた
事業手法や交通対策の検討等

☆クルーズ受入機能の強化【46,000】(港空)
中央ふ頭におけるクルーズ受入機能強化の検討

☆国内を代表するMICE拠点の形成【393,467】(経観文)【再掲】
MICE機能の強化を図るため、第2期展示場関連インフラ整備等を推進

・ウォーターフロント地区周辺の道路ネットワークの強化【667,867】(道下)
築港石城町線の道路整備



交通・人流・物流機能の強化

☆福岡空港整備事業費負担金【2,705,857】(港空)
国が実施する福岡空港整備事業(滑走路増設等)に対する地方負担

☆福岡空港周辺地域の環境整備【250,130】(港空他)
空港周辺地域の生活道路の改善や中長期的なまちづくりの検討等

☆港湾機能の強化【1,510,142】(港空)
船舶の大型化に対応するための東航路や、
中央ふ頭における西側岸壁の整備(平成30年秋頃 全面供用予定)等

☆箱崎ふ頭クルーズ船受入(検査施設)【77,969】(港空)
クルーズ船の検査体制を強化するため、検査施設を整備

・地下鉄七隈線延伸事業【6,603,000】(交通)
地下鉄七隈線の延伸(天神南駅～博多駅)について、
安全・安心を最優先に土木本體工事等を推進

☆アイランドシティへの自動車専用道路整備【2,649,994】(道下・港空)
自動車専用道路アイランドシティ線(福岡高速6号線)の整備



☆博多駅筑紫口での自転車駐車場整備【210,000】(道下)
民間ホテルの建替えと連携した地下駐輪場の整備

☆六本松地区での自転車駐車場整備【166,275】(道下)
駐輪需要に対応するため駐輪場を拡充整備(190台 → 500台)

・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近)【2,399,061】(道下)
西鉄天神大牟田線雑餉隈駅付近の連続立体交差化(平成32年度高架切替予定)

☆鮮魚市場高度衛生管理整備事業【57,065】(農水)【再掲】
高度な衛生管理体制の確立に向けた閉鎖型卸売場棟への改築・改修等

・都心部交通対策の推進【17,653】(住都)
都心部におけるBRT(※)の形成やフリンジパーキング(※)の検討等

※BRT…Bus Rapid Transit(高速輸送システム)

※フリンジパーキング…都心部への自動車流入を抑制するため、都心周辺部に設ける駐車場



文化・芸術・スポーツ活動拠点の整備・充実

☆総合体育館整備運営事業【953,250】(市民)
総合体育館の整備・運営等 (平成30年秋 供用予定)

☆美術館リニューアル事業【574,504】(経観文)
福岡市美術館の改修・開館準備及びリニューアル記念展の実施等
(平成31年3月 供用予定)

・拠点文化施設整備事業【24,186】(経観文)
市民会館を継承する文化施設の整備に向けた検討

☆早良地域交流センター整備事業【425,418】(市民)
早良地域交流センター整備に係る用地取得及び事業者の選定等

☆レベルファイブスタジアムの改修【350,994】(市民)【一部再掲】
ラグビーワールドカップ2019に向けたフィールド改修や防犯カメラ設置等

・今津運動公園の整備【69,683】(住都)
今津運動公園硬式野球場の新規整備 (平成30年5月 供用予定)



憩い・潤いの空間の充実

★「一人一花」運動【17,500】(住都)
市民・企業みんなで花と緑を育てることで、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる「フラワーシティ福岡」を実現

☆福岡城跡復元整備事業【37,675】(経観文)
歴史的資源の利活用に向けた祈念櫓の石垣修理及び潮見櫓復元の設計等

☆動植物園再生事業【971,451】(住都)
動物情報館や駐車場、飲食・物販等のエントランス複合施設を整備
(平成30年秋 供用予定)

☆セントラルパーク構想の推進【89,306】(住都)
大濠公園と舞鶴公園の一体的活用による憩いと集客の拠点づくり、福岡城さくらまつり等

☆高宮南緑地整備事業【84,047】(住都)
歴史的建築物(旧高宮貝島家住宅)を市民に開放し、観光資源とするため、民間活力による施設整備等を推進

★「福岡100」合葬墓整備事業【23,153】(住都)
承継を前提としない合葬墓の設計等

★油山市民の森リニューアル事業【1,900】(農水)
開園50周年(平成31年度)に向けて、民間投資等による施設整備やプログラムの充実を見据えたリニューアルプランを策定



災害に強く環境に優しいまちづくり

★機動救助隊整備経費【128,673】(消防)
新たな救助隊(機動救助隊)創設のための車両や資機材の整備

・中央区における消防署所の再編整備【126,711】(消防)
中央区における消防署所の再編整備に伴う
新中央消防署の開署(平成30年4月 供用予定)等

☆博多区新庁舎の整備検討【112,081】(市民)
新庁舎の整備に係る基本設計等

☆博多漁港耐震強化岸壁整備【168,000】(農水)
防災拠点漁港としての博多漁港の機能強化を図るため、耐震強化岸壁を整備



・緊急輸送道路橋梁耐震補強【90,000】(道下)
緊急輸送道路における橋長15m以上の橋梁の耐震補強工事等

・道路空洞調査及び東京大学との共同研究【66,000】(道下)
空洞発生の地域特性や要因分析に関する調査・研究

☆下水道整備(地震対策)【3,018,605】(道下)
地震に強い施設づくりを進めるため、管渠、水処理センターの耐震化を実施

☆水道管路・重要土木構造物耐震化事業【6,328,585】(水道)
導水管や配水管の耐震管への更新や沈でん池の耐震化を実施

★暮らし安心・適応リノベーション(※)促進事業【1,596】(環境)
市民モニター制度を活用した広報・啓発で、住宅窓の複層ガラス等への改修促進
※リノベーション…既存建築物の性能を高め、付加価値を与える改造・改修

Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

平成29年6月に策定した「財政運営プラン」の取組みの方向性を踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、「歳入の積極的な確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることとし、平成30年度当初予算においては約57億円の財源を確保しました。

財源確保総額 5,727百万円

(単位：百万円)

行政運営の効率化	963
① 人件費の抑制	11
民間活用の推進 など	
② 企業会計・特別会計における見直し	769
モーターボート競走事業収益の確保による一般会計への繰出金の増 など	
③ その他行政運営の効率化	183
福岡観光コンベンションビューローの事業内容等の見直し 国際交流財団の職員配置の見直し デジタル無線設備に係る保守内容の見直し など	

歳入の積極的な確保	3,838
① 収入・収納率等の向上	1,523
市税収入率の向上 [H29 97.8% → H30 98.2%] 市営住宅使用料収納率の向上 など	
② 市有財産の有効活用 等	2,315
未利用地等の売却・貸付 など	

その他公共施設の見直し 等	926
道路占用料等の改定 道路照明のLED化による電気料金の縮減 ロボスクエアの閉館 など	

2 アセットマネジメントの推進

市有施設を安全・安心に維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、**財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設の状態等に応じた適切な維持管理を推進**します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

●アセットマネジメント事業費

(単位：億円)

区 分	H28	H29	H30	差引増減 (H30－H29)
一般会計	401	429	486	57 (13%)
全会計	748	826	874	48 (6%)

※国予算関連の2月補正予算における前倒しを含む

※億円未満は四捨五入しており計算が一致しない場合がある

【主な取組み】（一般会計）

(単位：千円)

①施設の長寿命化・機能維持

構造躯体を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や、老朽化などにより所要の性能が発揮できなくなることを防止するために行う修繕等

- ・ **学校の校舎等の大規模改造【2,973,804】（教委）**
老朽化した校舎等の大規模改造の実施（16校）
- ・ **臨海工場整備【2,029,916】（環境）**
臨海工場（ごみ処理施設）の基幹的設備の更新
- ・ **市営住宅の長寿命化【1,082,541】（住都）**
市営住宅ストック総合活用計画に基づく住宅の外壁改修や屋上防水の実施
- ・ **体育施設改修【957,714】（市民）**
博多体育館の大規模改修等の実施
- ・ **道路大規模修繕【652,275】（道下）**
道路アセットマネジメント基本方針に基づく優先順位の高い道路の修繕
- ・ **橋梁の長寿命化【491,525】（道下）**
橋梁長寿命化修繕計画に基づく優先順位の高い橋梁の改修

②施設の機能向上・充実

耐震改修やバリアフリー化など、社会情勢や市民ニーズに応じた施設の機能充実及び安全性向上のために行う改修等

- ・ **学校の校舎及び附帯施設等整備【3,475,218※】（教委）**
学校の便所改造（トイレの洋式化）や空調機更新等の実施
- ・ **市営住宅の改善【2,948,503】（住都）**
安全性、高齢者対策などの水準が低い住宅の住戸改善、耐震改修等

③施設の建替・更新

施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な施設の建替・更新

- ・ **市営住宅の建替【5,529,611】（住都）**
老朽化した住宅の建替（373戸建設着手等）
- ・ **公民館改築【1,516,633】（市民）**
100坪館から150坪館への建替・設計等（3館建設着手等）
- ・ **公園再整備【524,841※】（住都）**
老朽度調査等を行い策定した公園再整備計画に基づく公園の整備（19公園）

※H29年度2月補正予算における前倒しを含んだ額

3 財政調整用基金の残高の確保

(1) 財政調整用基金の取崩額の抑制①

- ・ 当初予算編成時における財政調整基金の取り崩し額を5年連続で縮減（▲8億円）
H25：65億円，H26：62億円，H27：60億円，H28：59億円，H29：58億円，H30：57億円(▲1億円)
- ・ 市債管理基金，庁舎建設等資金積立金の取り崩し抑制も継続

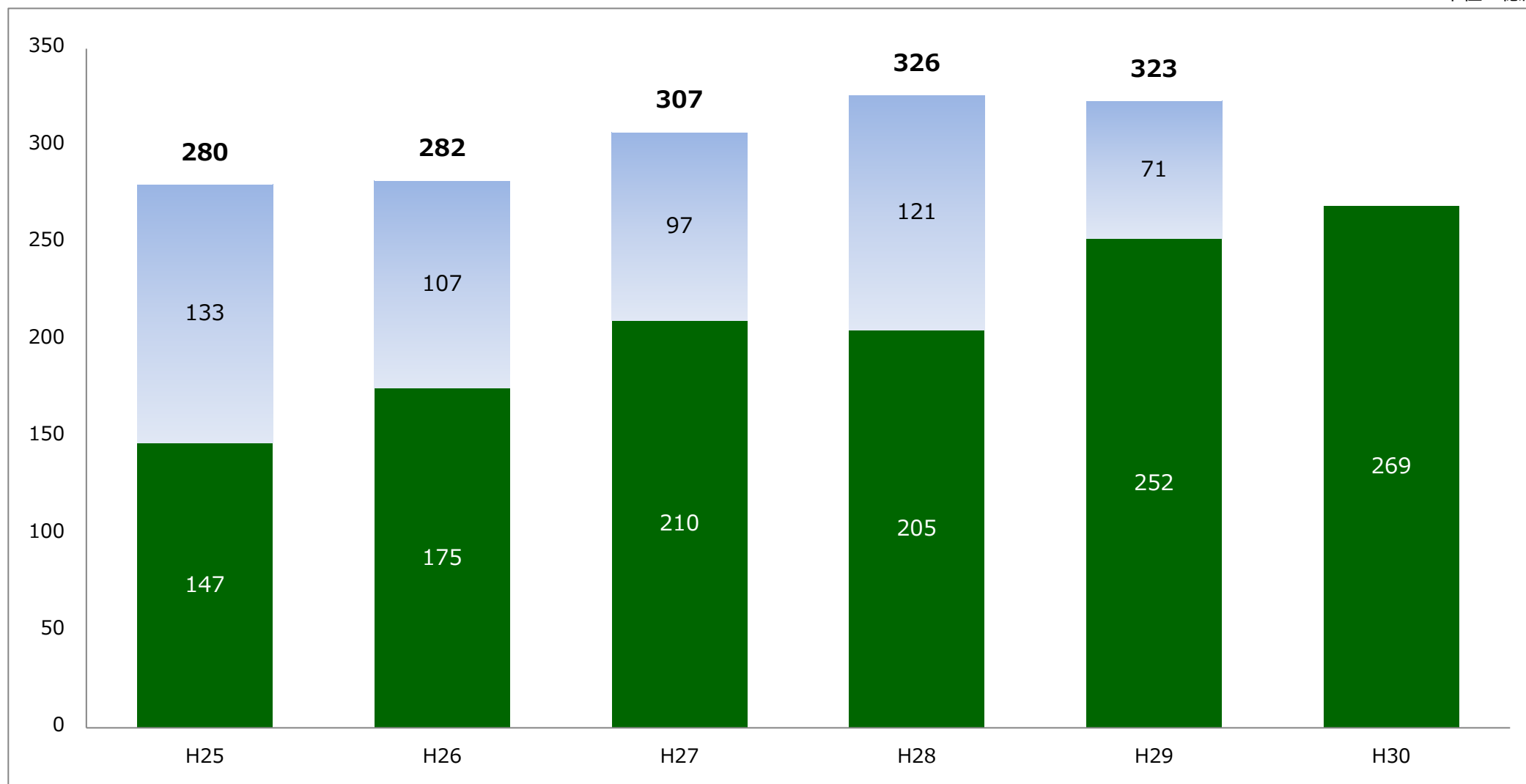
基金名	H25当初予算 取崩し	H26当初予算 取崩し	H27当初予算 取崩し	H28当初予算 取崩し	H29当初予算 取崩し (①)	H30当初予算 取崩し (②)	当初予算時 取崩額比較 ①－②	(参考) H30年度末 残高見込み
財政調整基金	▲ 65 億円	▲ 62 億円	▲ 60 億円	▲ 59 億円	▲ 58 億円	▲ 57 億円	▲ 1 億円	183 億円
市債管理基金	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	54 億円
庁舎建設等 資金積立金	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	- 億円	32 億円
合 計	▲ 65 億円	▲ 62 億円	▲ 60 億円	▲ 59 億円	▲ 58 億円	▲ 57 億円	▲ 1 億円	269 億円

(2) 財政調整用基金の取崩額の抑制②

■ 当初予算時点の残高

■ + ■ 決算時点の残高 (※H29は見込み)

単位：億円



4 市債残高の着実な縮減

(1) 市債発行額の抑制

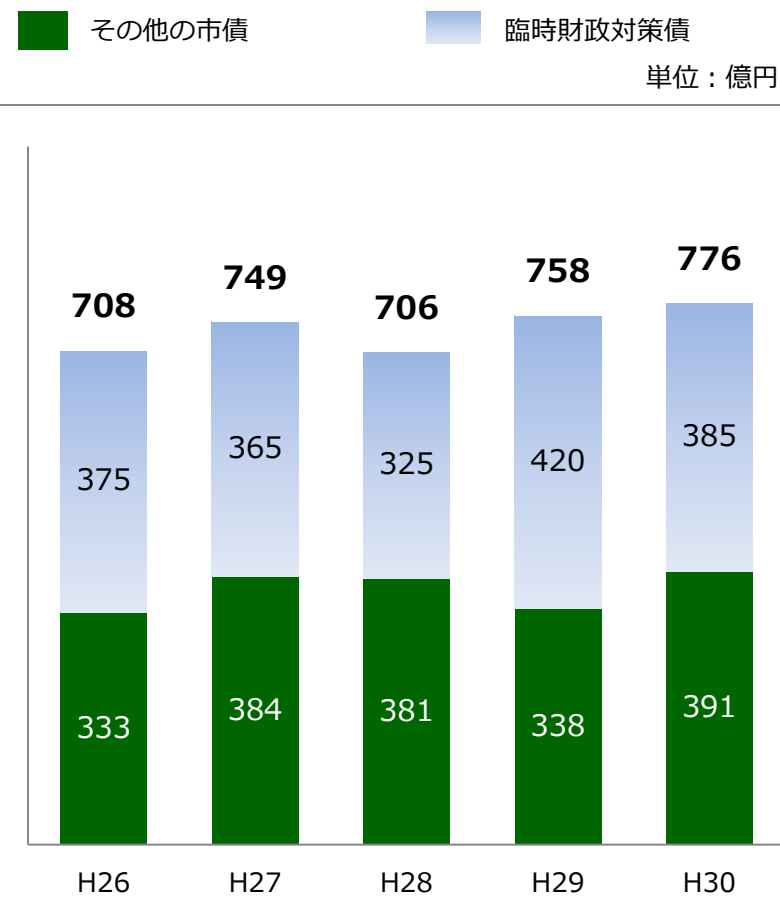
① 市債発行額（一般会計）

- 市債発行額は、学校施設改修等に係る教育債の増加（+56億円）等により、増加（+18億円）
- 臨時財政対策債は減少（▲35億円）

	H29	H30	増減額
市債発行額	758億円	776億円	18 億円
うち臨時財政対策債	420億円	385億円	▲ 35 億円

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）



(2) 市債残高の縮減

① H30年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計はH29年度末と比べ縮減（▲65億円）
- ・ 満期一括積立金を除く全会計ではH29年度末と比べ縮減（▲475億円）
- ・ 満期一括積立金を除く全会計でピーク時より4,827億円縮減（▲18.7%）

単位：億円

	H16 年度末残高	H29	H30			差引き (B) - (A)
		年度末残高 (A)	新規発行	市債償還	年度末残高 (B)	
一般会計	12,928	12,055	776	▲ 842	11,990	▲ 65
全会計	25,882 (27,092)	21,529 (23,356)	1,083	▲ 1,558 (▲ 1,505)	21,054 (22,934)	▲ 475 (▲ 423)

※億円未満は四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

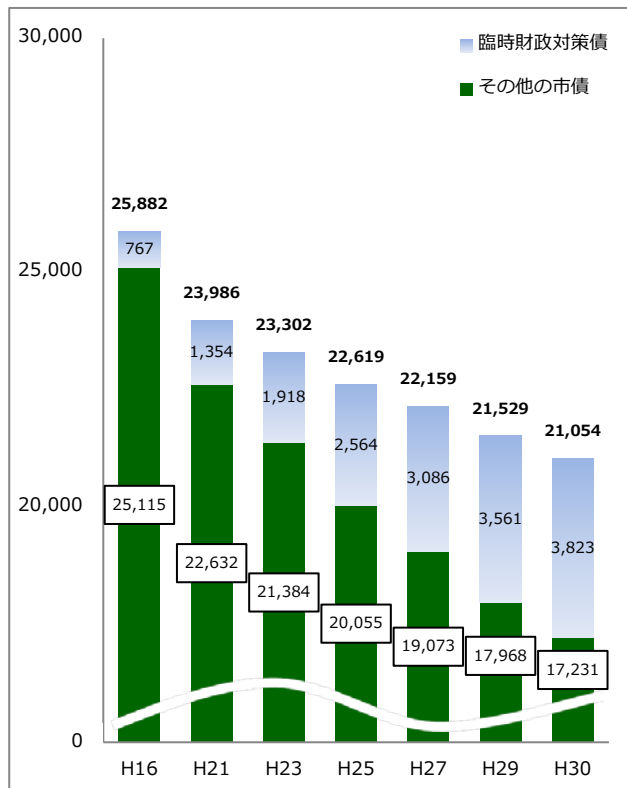
※カッコ内は、満期一括積立金（満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を含む。

②市債残高の推移

H30年度末の満期一括積立金を除く全会計市債残高見込額から、国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、そのピーク時のH16年度末から7,884億円減少し、1兆7,231億円となります。また、その市民一人当たり市債残高見込額は、H16年度末から約72万円減少し、約113万円となります。

市債残高の推移（全会計）

（単位：億円）



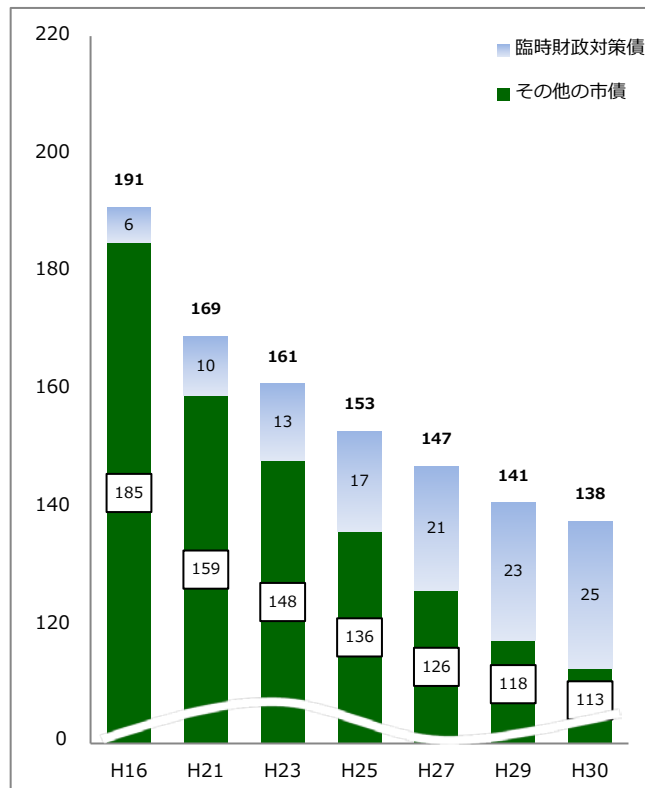
※H27までは決算ベース、H29は2月補正後（繰越明許費を反映していない）、H30は当初予算ベース
※満期一括積立金を除く

◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移（億円）

年度	H16	H21	H23	H25	H27	H29	H30
金額	27,092	25,158	24,695	24,190	23,796	23,356	22,934

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）

（単位：万円）



※H27までは決算ベース、H29は2月補正後（繰越明許費を反映していない）、H30は当初予算ベース
※H27までは各年度末現在、H29、30は平成29年12月末現在の登録人口
※満期一括積立金を除く

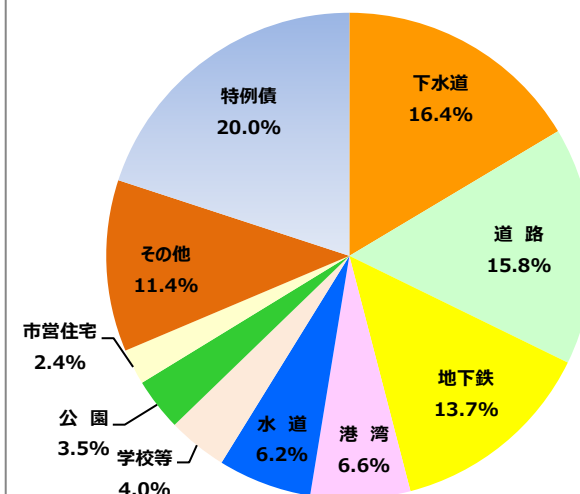
◎市民一人当たり市債残高の推移（満期一括積立金を含む全会計）（万円）

年度	H16	H21	H23	H25	H27	H29	H30
金額	200	177	171	164	158	153	150

平成30年度末残高の見込み

- 一般会計
約 1兆1,990億円（▲ 65億円）
 - 特別会計
約 1,849億円（▲ 153億円）
 - 企業会計
約 7,216億円（▲ 257億円）
 - ◇満期一括積立金を除く全会計
約 2兆1,054億円（▲ 475億円）
<約 2兆2,934億円（▲ 423億円）>
- （ ）は平成29年度末残高見込みとの差
< >は満期一括積立金を含む

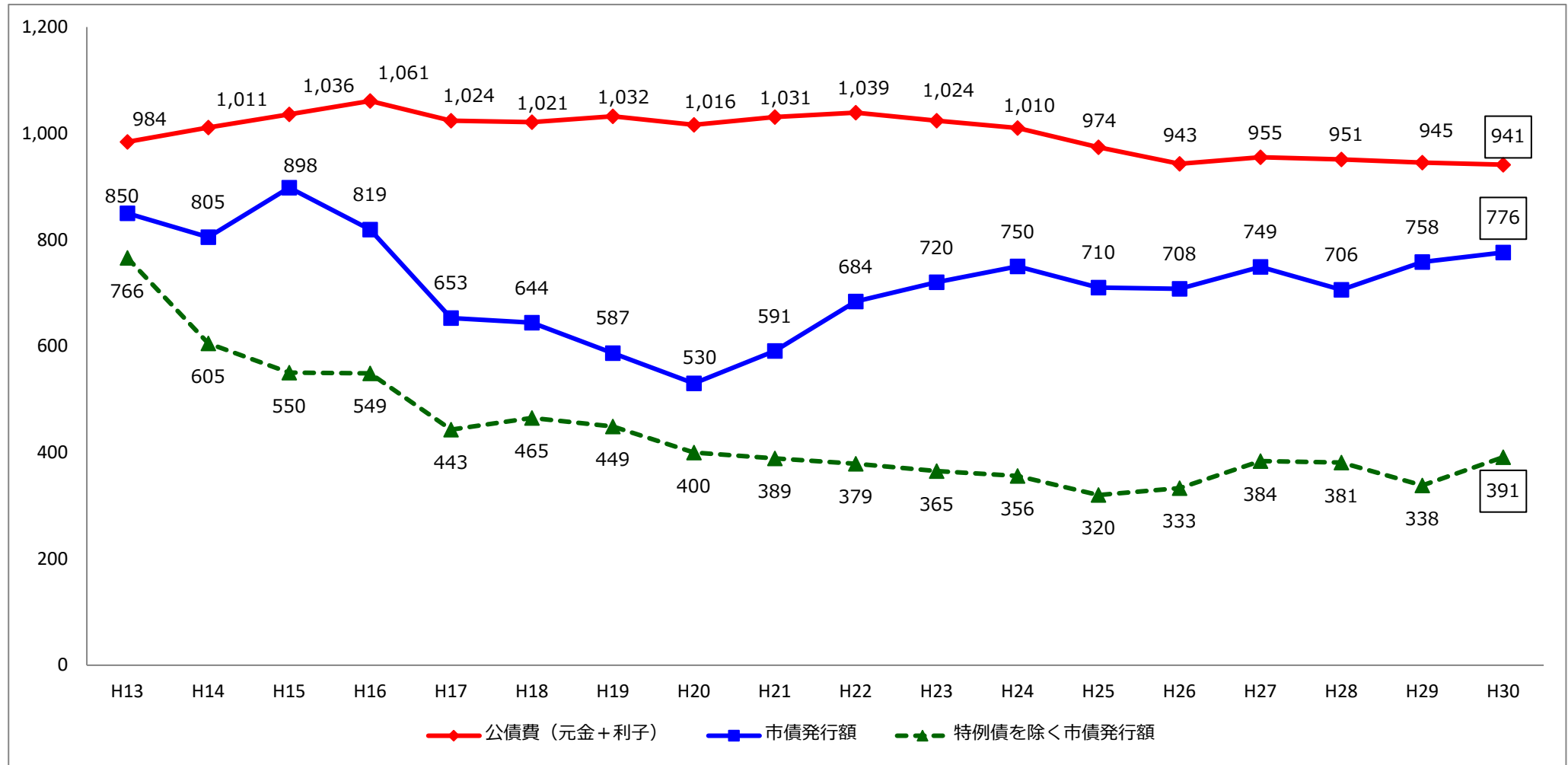
市債残高の割合（平成30年度末見込）



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

単位：億円



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行された市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・ 一般会計は、就学前児童の教育・保育給付費や障がい児・者の施設給付費等の社会保障関係費が増加することなどにより過去最大規模　＋0.7%
- ・ 全会計合計は、国民健康保険事業の財政運営の県単位化に伴う予算規模の減などにより　▲1.0%

※以下、詳細は別添資料「平成30年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	H30	H29	増減額	伸率(%)
一般会計	8,388億円	8,328億円	60 億円	0.7
特別会計	7,348億円	7,552億円	▲ 205 億円	▲ 2.7
企業会計	3,030億円	3,074億円	▲ 45 億円	▲ 1.5
合 計	1兆8,765億円	1兆8,955億円	▲ 190 億円	▲ 1.0

2 予算案のポイント

※（ ）内の増減は対平成29年度当初予算比

○一般会計

<歳入>

- ・ 市税収入は、個人市民税における県費負担教職員に係る権限移譲に伴う税率変更の影響及び納税義務者数の増、法人市民税における企業収益の改善、固定資産税における土地評価額の上昇及び新增築家屋の影響などにより、平成29年度当初を上回る
- ・ 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税等は、市税収入の増加等に伴い減少
- ・ 市債発行額は、学校施設改修等に係る教育債の増加などにより平成29年度当初を上回るが、市債残高については着実に減少

<歳出>

- ・ 真に必要な施策・事業に必要な予算を確保し、福岡市を次のステージへと飛躍させるチャレンジ『FUKUOKA NEXT』を着実に推進
- ・ 「元気で住みやすいまち、成長可能性が高いまち」にさらに磨きをかけ、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環の実感をあらゆる人に行き渡らせることに注力
- ・ 安心して生み育てられる子育て環境の充実に向けて、こども育成費を増額確保（+67億円）
- ・ 都市の供給力を高め、成長を牽引する先進的なまちづくりに積極的にチャレンジ
- ・ 扶助費に医療・介護関連の繰出金・負担金を加えた社会保障関係費は引き続き増加（+62億円）

3 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況（概要）

項 目	H30	H29	増減額	伸率（%）
市税	3,191億円	2,834億円	357 億円	12.6
個人市民税	1,196億円	904億円	292 億円	32.3
法人市民税	389億円	361億円	29 億円	7.9
固定資産税	1,154億円	1,128億円	26 億円	2.3
地方譲与税	62億円	60億円	2 億円	3.7
交付金	416億円	652億円	▲ 236 億円	▲ 36.2
県民税所得割臨時交付金等	39億円	289億円	▲ 250 億円	▲ 86.4
地方消費税交付金	296億円	283億円	13 億円	4.8
地方特例交付金	12億円	8億円	4 億円	46.7
地方交付税等	730億円	810億円	▲ 80 億円	▲ 9.9
地方交付税	345億円	390億円	▲ 45 億円	▲ 11.5
臨時財政対策債	385億円	420億円	▲ 35 億円	▲ 8.3
その他	129億円	130億円	▲ 1 億円	▲ 0.8
合 計	4,540億円	4,494億円	46 億円	1.0

（１）一般財源の状況（ポイント）

＜総 額＞ 4,540億円（+46億円）

＜市 税＞ 3,191億円（+357億円）

- ・ 個人市民税は県費負担教職員に係る権限移譲に伴う税率変更の影響（+260億円）及び納税義務者数の増等により，+292億円（+32.3%）
- ・ 法人市民税は企業収益の改善等により，+29億円（+7.9%）
- ・ 固定資産税は土地評価額の上昇及び新增築家屋の影響等により，+26億円（+2.3%）

＜県民税所得割臨時交付金等＞ 39億円（▲250億円）

- ・ 個人市民税の税率変更に伴う県民税所得割臨時交付金の大幅減等により，▲250億円（▲86.4%）

＜地方消費税交付金＞ 296億円（+13億円）

- ・ 地方消費税交付金は地方消費税収入額の増等により，+13億円（+4.8%）

→平成26年度の消費税率引き上げによる増収分＜114億円＞は社会保障関係費＜2,664億円＞に充当

＜地方交付税等＞ 730億円（▲80億円）

- ・ 市税収入の増加等に伴い，地方交付税等は減少
（地方交付税▲45億円，臨時財政対策債▲35億円）

＜その他＞

- ・ 財政調整基金の取り崩し額は5年連続で縮減（▲1億円）

(2) 性質別歳出の状況（概要）

項 目	H30	H29	増減額	伸率 (%)
人件費	1,445億円	1,444億円	2 億円	0.1
扶助費	2,167億円	2,087億円	80 億円	3.8
公債費	941億円	945億円	▲ 4 億円	▲ 0.4
義務的経費 計	4,553億円	4,476億円	77 億円	1.7
物件費	910億円	874億円	36 億円	4.1
補助費等	522億円	540億円	▲ 18 億円	▲ 3.3
普通建設事業費	774億円	682億円	92 億円	13.5
補助事業費	461億円	312億円	149 億円	47.7
単独事業費	313億円	370億円	▲ 57 億円	▲ 15.4
維持補修費	108億円	100億円	9 億円	8.6
貸付金	885億円	1,001億円	▲ 116 億円	▲ 11.6
繰出金	564億円	586億円	▲ 22 億円	▲ 3.7
その他	71億円	69億円	2 億円	3.5
合 計	8,388億円	8,328億円	60 億円	0.7

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

＜義務的経費＞ 4,553億円（+77億円）

- ・ 人件費は、退職手当の増（+2億円）などにより、+2億円
- ・ 扶助費は、教育・保育給付費（+36億円）、障がい児・者施設給付費等（+24億円）、権限移譲に伴う難病対策の増（+19億円）などにより、+80億円
- ・ 公債費は、元金の増（+15億円）、利子の減（▲19億円）により、▲4億円

＜その他＞

- ・ 物件費は、システム刷新（+16億円）、選挙費の増（+6億円）などにより、+36億円
- ・ 補助費等は、高速鉄道補助金（▲12億円）、企業立地交付金（▲7億円）などにより、▲18億円
- ・ 普通建設事業費は、学校大規模改造や校舎増築等（+49億円）、臨海(清掃)工場整備（+15億円）、市営住宅整備等（+12億円）、街路整備事業（+13億円）などにより、+92億円
- ・ 維持補修費は、学校等維持補修（+6億円）、市営住宅維持補修（+3億円）などにより、+9億円
- ・ 貸付金は、商工金融資金預託金（▲61億円）、高速鉄道貸付金（▲45億円）、農林水産業金融資金貸付金（▲11億円）などにより、▲116億円

(3) 目的別歳出の状況（概要）

項 目	H30	H29	増減額	伸率（%）
総 務 費	505億円	453億円	51 億円	11.3
こども育成費	1,174億円	1,107億円	67 億円	6.0
保健福祉費	2,039億円	2,026億円	13 億円	0.6
環 境 費	317億円	296億円	21 億円	7.1
経済観光文化費	865億円	939億円	▲ 74 億円	▲ 7.9
土 木 費	397億円	372億円	25 億円	6.7
都市計画費	574億円	619億円	▲ 45 億円	▲ 7.3
港湾空港費	117億円	95億円	22 億円	22.8
消 防 費	145億円	212億円	▲ 67 億円	▲ 31.5
教 育 費	1,206億円	1,142億円	64 億円	5.6
公 債 費	946億円	951億円	▲ 5 億円	▲ 0.5
そ の 他	104億円	116億円	▲ 12 億円	▲ 10.3
合 計	8,388億円	8,328億円	60 億円	0.7

（３）目的別歳出の状況（主な増減）

＜総務費＞

システム刷新（+16億円）、総合体育館整備運営事業（+9億円）、公民館改築（+8億円）
選挙費（+7億円）、世界水泳選手権福岡大会開催準備（+5億円）

＜こども育成費＞

就学前児童の教育・保育給付費（+36億円）、障がい児施設給付費等（+11億円）
公立保育所整備（+5億円）、保育所等整備費助成（+4億円）、科学館整備運営事業（+4億円）

＜保健福祉費＞

難病対策（+19億円）、障がい者施設介護給付費等（+13億円）、生活保護費（▲8億円）

＜経済観光文化費＞

商工金融資金預託金（▲61億円）、企業立地交付金（▲7億円）

＜都市計画費＞

高速鉄道貸付金（▲45億円）、高速鉄道補助金（▲12億円）、街路新設改良費（+15億円）

＜港湾空港費＞

港湾改修費（+10億円）、空港対策費（+9億円）

＜消 防 費＞

消防指令管制情報システム共同運用整備（▲33億円）、消防ヘリコプター更新整備（▲20億円）

＜教 育 費＞

学校大規模改造（+29億円）、校舎増築（+12億円）、校舎及び附帯設備等整備（+7億円）

4 特別会計の状況（概要）

項 目	H30	H29	増減額	伸率（％）
後 期 高 齢 者 医 療	179億円	177億円	2 億円	1.1
国 民 健 康 保 険 事 業	1,365億円	1,718億円	▲ 353 億円	▲ 20.6
介 護 保 険 事 業	1,034億円	1,059億円	▲ 25 億円	▲ 2.3
中 央 卸 売 市 場	178億円	107億円	71 億円	66.5
港 湾 整 備 事 業	121億円	216億円	▲ 95 億円	▲ 43.9
香 椎 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業	33億円	43億円	▲ 10 億円	▲ 22.8
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理	19億円	22億円	▲ 3 億円	▲ 15.6
市 債 管 理	4,368億円	4,156億円	212 億円	5.1
そ の 他	51億円	55億円	▲ 4 億円	▲ 7.0
特別会計 合 計	7,348億円	7,552億円	▲ 205 億円	▲ 2.7

4 特別会計の状況（主な増減）

＜後期高齢者医療＞	広域連合への納付金（+2億円）
＜国民健康保険事業＞	共同事業拠出金（▲458億円），後期高齢者支援金等（▲185億円） 介護納付金（▲70億円），国民健康保険事業費納付金（+427億円）
＜介護保険事業＞	保険給付費（▲45億円），地域支援事業費（+18億円）
＜中央卸売市場＞	公債費元金（+87億円），青果部3市場跡地処分経費（▲14億円）
＜港湾整備事業＞	港湾整備事業基金積立金（▲62億円），公債費元金（▲23億円）
＜香椎駅周辺土地区画整理事業＞	移転補償（▲6億円），道路等工事費（▲4億円）
＜市債管理＞	借換債（+117億円），元金（市場特会公債費元金等）（+111億円）

5 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（▲14億円）、一般会計への繰出金（+3億円）

<下水道事業> 企業債償還金（▲15億円）、建設改良費（+15億円）

<水道事業> 建設改良費（▲7億円）、給水収益（+5億円）

<高速鉄道事業> 借入金返還金（▲45億円）、建設改良費（▲24億円）、企業債償還金（+38億円）

項 目	H30	H29	増減額	伸率（%）
モーターボート競走事業	475億円	484億円	▲ 9 億円	▲ 1.8
下水道事業	1,157億円	1,162億円	▲ 4 億円	▲ 0.4
水道事業	606億円	608億円	▲ 3 億円	▲ 0.4
工業用水事業	7億円	7億円	0 億円	1.1
高速鉄道事業	784億円	813億円	▲ 29 億円	▲ 3.6
企業会計 合 計	3,030億円	3,074億円	▲ 45 億円	▲ 1.5